

いわて森林再生77

2014年2月号

NPO法人いわて森林再生研究会
盛岡市上田堤1-13-7
TEL・FAX 019-663-0547

われらは森林の環境と、その恵みを守り育てます



一年で最も静かなギダジ研修場……丸太も炭小屋も雪に埋もれています。炭窯には12月に焼き上げたマツ炭がはいっています。

“休眠会員”のみなさんへ ～あなたの力を生かして……～

休眠会員？……失礼と思いますが、年に一

度も(あるいは何年間も)活動に参加しない会員を、こう呼ばさせていただきます。

と云うのは、最近、活動に参加する顔ぶれ

が同じなのです。つまり、参加しない休眠会

員が多くなったというわけです。このままで

すと、団体の活動パワーがダウンしてしまうと心配なのです。

わたしたちが掲げる活動原理は、荒れた森林(主に人工林)を自らの手足で再生することです。親睦団体ではなく、実践団体なのです。会員みんなの参加(実践)がなければ成り立たない団体なのです。

休眠会員のみなさんにお聴きしますが、会の運営で、参加できない、または、参加しづらい理由があるのでしたら、お聞かせください。会の運営でおかしいところがあれば改めることにやぶさかではありません。

また、もしチェーンソーを持って立木を伐り

倒すのは苦手だというならば、別の大切な仕事があります。例えば、記録写真撮影、会報編集・発行、受講者募集、機材管理、書類整理、会計、資金調達、運材……など、担ってもらいたい分野がたくさんあります。兎に角、あなたのマンパワーを生かしたいのです。

(斉藤)

活動カレンダー 2/9～3/30

| 月日 | 内 容 | 詳細 |
|-----------------|-----------------------------------|------|
| 2/9(日) | 「講師派遣」・遠野エコネット 入門講座へスタッフ3人 | 6ページ |
| 16(日) | 「講座」・アイスアリーナ ～森づくりの基礎、薪づくり実践例～ | 3 |
| 23(日) | 「講座」・盛岡中央公民館 ～応急手当法、目立て実習～ | 3 |
| 3/8(土) | 「講座」・集合・ギダジ研修場 ～枝打ち、伐木のおさらい～ | 未 |
| 9(日) | 「講師派遣」・遠野エコネット 入門講座へスタッフ3人 | 〃 |
| 23(日) | 「講座」・集合・ギダジ研修場 ～枝打ち、伐木のおさらい～ | 〃 |
| 29(土) ～30(日) | 「きのこ植菌」・ギダジ研修場 ～ 森の恵み体験 ～ | 〃 |

※ 詳細は表の右欄のページを
見てください。



「間伐材の資源化プロジェクト」・「セブン-イレブン記念財団」助成事業

<活動は3月からスタート>

<活動期間>

……3月～来年の1月

<活動内容と回数>

間伐材の集材・運材…3～12月(10回)

※ 間伐材 75立米を運び出し、
下記の活動(資源化)に使う

きこ栽培…3～11月(3回)

薪づくり…5～9月(8回)

炭焼き…6, 9月(2回)

製材…4～12月(8回)

木工教室…6～10月(4回)

※ 活動内容は同じ日に並行して行う
場合もあります。

(例えば、木工教室と製材など)

□ 1/25「ドイツの森林経営」……

山本信次さん(岩大農学部准教授)

気候、樹種、地形等が違うので単純に比較出来ない。が、木質バイオマスの利用では発電、給熱が同時に行われるので効率が良い。これは見習うべきだなど貴重な講演でした。



会場を埋めた聴講者(43人)

今年度のCO₂吸収・削減量……121トン



☞ 間伐(再生)でCO₂が吸収された分
樹齢40年のスギ林は1年間に11m³木質化(蓄積)するとしてCO₂を9.73トン吸収する(計算式は2/16の「講座」で詳述)。

今年度、研究会、南、北の3団体が計8haを間伐(再生)したので、CO₂の吸収は……

$$9.73 \text{ トン} \times 8 \text{ ha} \doteq 78 \text{ トン}$$



☞ 資源化でCO₂の排出を抑えた分

1m³の間伐材が燃したり、腐らせると0.576トンのCO₂を排出します。それを燃料や木材として活かせば、その分排出削減になります。

今年度は、左写真の活動で75m³を資源化したので、CO₂削減は……。

$$0.576 \text{ トン} \times 75 \text{ m}^3 \doteq 43 \text{ トン}$$



当事業によるCO₂吸収・削減は
……78トン+43トン=121トン

「森林ボランティア講座」……三井物産環境基金 助成事業

震災復興支援活動……3年間で「森林作業の人材200人を養成」

< 2月のスケジュール >

■ 「講座」 ※オープン講座

と き 2月16日(日) 9:00~15:00
ところ アイスアリーナ(スケート場)
盛岡市本宮
内 容 ・森づくりの基礎知識
・Q&A(技術編)
・「木の駅」について
講師 千葉和さん
(遠野エコネット)



応急手当法の実習……去年2月の「講座」

■ 「応急手当 体験講習」 ※オープン講座

と き 2月23日(日) 9:00~15:00
ところ 盛岡中央公民館
盛岡市愛宕町(バイパスそば)
内 容 ・日赤の講師による応急手当法
・目立て実習(※希望者)
※ 講座の人は極力参加してください!

止血の練習で**風呂敷**を使いますので、一枚持参してください。

チェンソーを持っている人は持参してください。

1月の活動から

- 1/13 「新春セミナー」プラザ・おでって
参加 41人 “情報を読み取る”をテーマに、
会員の佐々木 篁 さんの話、



- 1/25 「特別教育」
チェンソーでの伐木作業などの関係
法令を学習。参加 23人。

講師 小山石孝氏

3冊に及ぶ条項を逐一
解説、安全作業の規則が
法令でも定められてい
ます。



講師派遣事業（安全技術普及活動）

- 1/12(日)講師派遣・・・NPO 法人遠野エコネット主催「第2期 山仕事はじめの一步入門講座」
今回は5回目、戸外は雪降りて室内の研修となる。研修内容は ①チェーンの構造 ②チェーンの目立て訓練 …… <派遣講師陣> 菅原勝義、佐藤利一、大桐啓三、斉藤文男



<分解して見ると分かるエンジン機構・・・>

エンジン・・・まず、キャブレターが混合ガソリンを気化させてシリンダーに送って爆発させ、そのエネルギーを回転エネルギーに変えます。次に回転エネルギーをソーチェンに伝えるのがクラッチ(連結システム)ですが、アクセルで回転数 3500 回転/分ほど以上に上げると、遠心力でソーチェン(=鎖刃)につながって回りだします。これが大雑把なメカニズムです。細々した部品がごちゃごちゃあるので面倒くさくみえますが、この理屈だけでも分かってもらえばOKです。

道具を可愛がって！

- ・ゴミや油がこびりついたチェーンは故障の原因になります。
- ・切れないソーチェンを無理に使えば、焼付けを起し機械をダメにしてしまいます。

掃除と目立てをやりましょう。



目立て・・・難しいものではありません。力も不要。ただ、長さ・角度・力加減の感覚(感性)を磨かなければなりません。刃を研ぐ(目立て)前に試し切りしたところ、直径 20cm の丸太を輪切するのに 40～60 秒かかった(中には鋸断不能も)チェーンが、目立て後は殆ど全機 10 秒以内で切りました。落ち着いてまで(丁寧に)やれば出来るのです。

<2月の講座内容>

■ロープワーク・滑車の使い方など ■森林・樹木学

<2月のスケジュール>

各活動分野の今月のスケジュール・前月の活動詳細は下記のページをご覧ください。

- ◆「間伐材利活用」・・・ 2 ページ
- ◆「森林ボランティア講座」・・・ 3 ページ
- ◆「特別教育」・・・ 3 ページ
- ◆「派遣事業」・・・ 4 ページ



☞ 講座のみなさんへ

4 月以降のこと

「講座」も余すところ 2 ヶ月ばかりとなりました。4 月以降、習得した技術を森林再生に生かしてください。

何処かの団体に所属して活動しようと考えている人には、次のような森林整備の実践団体があります。

▽ 間伐ボランティアいわて(盛岡・南)

▽ いわて森林を守る会(盛岡・北)

▽ みちのく郷山保全隊(北上)

所属は住居地で分けますが、取りあえず研究会に入会手続きしてください。

手続き等の詳細については 3 月の会報でお知らせします。

☞ 講座受講のみなさんへ お願い!



<教本、道具の返却>

- ・「図解チェーンソーワーク」
- ・「ニ丁差し」
- ・「ヘルメット」

教本、道具等を借りている人は
3月8日 or 23日の「講座」の日にお返してください。

※ 参加出来ない人は返却方法を相談しましょう 連絡ください。



□ 1/13 新年会～ 数少ない語らいの場～

at「東家(あずまや)別館」、参加 28 人



盛り上がった新年会でした。このような会は年間 4 回 開催されます。

春……お花見(4/29 確定)

夏……夏を送る夕べ(8 月下旬)

秋……そば収穫祭(11/23 確定)

冬……新年会(1 月中)

※ 会には、いろんな人がおります。楽しい話し合いが出来ます。